



受付番号	令和4年 6月 9日
/	午前 8 時 30 分受領

令和 4年 6月 9日

胎内市議会議長 天 木 義 人 様

胎内市議会議員 羽田野 孝子

一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第6 2条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
消雪パイプの設置や除雪体制の強化について	<p>市民アンケートを4月に全世帯を対象に実施し、295人から回答がありました。その中で消雪パイプの設置や除雪体制の強化についての要望が76人から寄せられましたので質問します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 市道の消雪パイプと機械除雪の割合について。2. 消雪パイプの設置を今後通常行わないとした理由は何か。3. 雪置き場の事前確保の実態は。4. 排雪作業を早くからできないか。	市 長
ごみの減量化・資源ごみの回収について	<p>市民アンケートで、「ゼロカーボンシティ宣言市にふさわしい取り組みを市民参加で」との要望が46人から寄せられました。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ここ3年間の年間一人当たりの家庭から出る可燃ごみと不燃ごみの量の変化について。2. ここ3年間の年間一人当たりの家庭から出る資源ごみの量の変化について。3. プラスチック製品の回収はできないか。	市 長

質問項目	質問の要旨	質問の相手
<p>のれんす号、通学バスの利用について</p>	<p>市民アンケートでは「公共交通の充実」が50人から寄せられました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ここ3年間ののれんす号の利用者数の変化と近年の年代別利用者数の状況について。 2. のれんす号を高校生が中条駅から築地地区へ帰るのに利用しているが、部活のある日は帰りが遅くなることから、高校生の帰宅時間に合わせて運行時間を延ばせないか。 3. のれんす号の利用料金について、小中学生は半額だが、高校生も半額にできないか。 4. 築地地区の中学生は、12月から通学バスを利用できるが、帰りは11月から暗くなるので利用期間を1か月早めてもらえないか。 5. 通学バスを一般の人でも利用できるようにできないか。 	<p>市長 教育長</p>

受付番号	令和 4 年 6 月 9 日
2	午前 11 時 30 分 受領

令和 4 年 6 月 9 日

胎内市議会議長 天木 義人 様

胎内市議会議員 坂上 隆夫



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
過疎問題について	<p>全国的に人口減少が進む中で、胎内市においても人口減少が進んでおり、高齢化率も上昇している。地域コミュニティや防災力、農地の維持が困難な地域も出ることが懸念される中で、市としての取り組みを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口減少が著しく進んでいる地域の把握はしているのか。又、人口の少ない地域の防災体制、自助、共助の考えについて伺う。 2. 農地の維持が困難になった場合の対策について伺う。 3. 買い物弱者に対して、地域の商店からの配達サービス支援を検討してはどうか伺う。 4. 高齢化率の高い集落や限界集落に近いような地域もあることから過疎対策検討チームを作ってはどうか伺う。 5. コンパクトシティの構想など、何か考えはあるのか伺う。 	市長
今後の小中学校の適正規模、中学校の運動部活動について	<p>胎内市立小中学校の適正規模等に関する検討委員会から答申が出され、その中に部活動についての事項がある。また、スポーツ庁では中学校の運動部活動を令和 7 年度末を目途に地域移行するとしているが、今後の取り組みについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和 4 年第 1 回定例会の施政方針の中で「望ましい教育環境の充実に向けた考え方や方向性などを基本方針としてまとめる」とあるが、いつ頃になるのか伺う。 2. 現在部活動で外部指導者が指導している部 	教育長

(2 枚中 1 枚目)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>活はあるのか伺う。</p> <p>3. 答申内容にある部活動と、今後進められる部活動の地域移行との関係を伺う。</p> <p>4. 小学校も児童数が減少傾向であるが、適正規模を踏まえ、小学校の望ましい教育環境についても検討すべきでないのか伺う。</p>	

受付番号	令和 4 年 6 月 10 日
3	午前 8 時 30 分 受領

令和4年 6月10日

胎内市議会議員 天木 義人 様



胎内市議会議員 小野 徳重

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 62 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
小中学校の統廃合について	少子化が続く中、今後児童生徒が減少し学校の小規模化が懸念されることから、令和 2 年 1 2 月に市立小中学校の適正規模等に関する検討委員会に対し、適正規模や配置に関する基本的な考え方等について諮問し、今年 4 月に答申されたが、この答申内容についての見解を伺う。	教育長
職員のまちづくり研修視察と参加について	1 まちづくり活性化のため、若手の職員を研修視察に派遣することにはどうか。行政主体ではなく各種民間団体や住民が協力してまちづくりに取り組んでいる事例を見ることは、職員の視点を転換させることにも繋がると思うが、このような派遣について市長の考えを伺う。 2 職員からまちづくりのアイデアを募集してはどうか。これは一回限りではなく、毎年定期的に二回ないし三回募集することによって、常に問題意識を持つことで良いアイデアが出てくるであろうし、まちづくりに参加する意欲もわくのではないかと考えるが、市長の考えを伺う。	市長
消火器購入及び薬剤詰め替えに対する助成について	火災が発生した場合、適切な方法で初期消火を行うことで被害を最小限に抑えられる。初期消火のためには、消火器を設置しておくことが大変有効であり、防火に対する意識を高め、万全の備えをすればといった点からも助成は有効な施策と考えるが市長の考えを伺う。	市長

受付番号	令和 4 年 6 月 10 日
4	午前 10 時 00 分 受領

令和 4 年 6 月 10 日



胎内市議会議長 天木 義人 様

胎内市議会議員 寛 智也

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
本町通りの活性化について	<p>胎内市には、旧中条町の本町ふれあい商店街やすでに解散された本町ひまわり商店街、旧黒川村の中央商店会や日の出商店会など、それぞれの地域に商店街があります。しかし近年は、後継者や担い手の不足、大型店舗の郊外出店による客足低下等、様々な理由で店舗が消え、人の往来も大幅に減っているのが現状です。</p> <p>そこで本町通りの今後について、市としてどのような見解をお持ちか、また活性化に向けた計画などされているのか伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在営業されている店舗数と空き店舗数についてどのように把握されているか 2 現状把握に向けたアンケートや聞き取り等を行う考えはあるのか。 3 本町を活用したイベントの開催や、商店街と協同で進める政策などの予定はあるのか 	市長
新型コロナウイルス感染拡大防止協力金について	<p>新型コロナウイルスの流行に際し、感染者が増大する毎に、新潟県内にも特別警報やまん延防止等重点措置が発令され、感染拡大防止のため、飲食店は度々時短営業や休業を余儀なくされています。国・県としても、それに対する補償金として、新型コロナウイルス感染拡大防止協力金を設け、自治体が窓口となり、売り上げの補填などに充てるものと認識していますが、この協力金申</p>	市長

(2 枚中 1 枚目)

	<p>請について市の見解を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1 今冬のまん延防止等重点措置期間において、協力金の申請可能店舗数に対して、利用件数が少ないと感じるが市としてどう捉えているか。2 協力金の申請では、「項目が細かく、自店舗がどこに該当するのか判断しづらいなど申請が大変だ」という声を多く聞いたのですが、そのような意見は把握されているか。3 送付された申請書類並びに市のホームページには、申請期限が表記されていましたが、締め切り期日を過ぎても提出可能なことについての情報発信はどのようにされたのか。	
--	--	--



受付番号	令和 4 年 6 月 10 日
5	午後 1 時 40 分 受領

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 6 月 10 日
胎内市議会議員 渡辺 栄六

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問相手
学校教育について	<p>児童生徒の教育では、すべての子どもが平等に学びを受けられる権利があるといわれている。また、胎内市教育振興基本計画では、「学校で増加する特別な支援を要する児童・生徒の対応や生徒指導上の問題に対応するため、介助員や学習指導補助員の配置、関係機関と連携した市サポート体制の構築などによる積極的な学校支援に努めます」とある。支援を必要とする児童においても、その子の能力に応じた学びに対する行き届いた支援が必要である。そこで、市内各小学校において、児童数に対する教員の配置状況を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 市内各小学校において、支援を必要とする児童数と特別支援学級数はそれぞれどのくらいか。 各小学校において、支援を必要とする児童に対して担任教員および、級外教員、加配教員の配置状況について。 	教 育 長
保育施設の適正配置について	<p>市内公立保育園および認定こども園は現在 4 園である。いずれの施設においても在園児数が減少傾向にあり、黒川保育園は特に顕著なため、今後の施設配置の方向性を示していく必要があると考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 市内公立保育園および認定こども園における、定員に対する在園児数はそれぞれ何名か。また、来年度以降の見通しはどうか。 胎内市立保育施設等適正配置問題審議会から令和 2 年に答申を受けているが、今後の公立保育園及び認定こども園の施設配置の具体的な方向性を伺う。 	市 長

<p>ホースセラピーの活用推進について</p>	<p>ホースセラピーは乗馬、あるいは馬の手入れ、飼育管理、馬の観察などを通じて、障がい者の精神機能と運動機能を向上させ、社会復帰を早めるリハビリテーション方法の一つである。また、ホースセラピーは身体と心の両方に癒しの効果があり、不登校、引きこもりなどの心の病をもたれている方にも効果がある療法である。市内の松原ステーブルスでは、牧場見学や体験乗馬、各種施設へのボランティア訪問、馬頭観音シャングシャング馬祭り、馬とふれあう体験型留学「うま友留学」の受け入れなどを行っているが、ホースセラピーの活用推進について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 馬とのふれあいは、有効であると思うので、障がい者施設、保育施設、高齢者施設などで慰問を受けられるよう支援したらどうか。 2 不登校や引きこもりの方に対し、馬とのふれあいを活用できないか。 	<p>市長 教育長</p>
-------------------------	--	-------------------

受付番号	令和4年6月13日
6	午前8時30分受領

令和4年6月13日

胎内市議会議長 天木 義人 様

胎内市議会議員 薄田 智



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
第2次胎内市総合計画後期基本計画の実施について	<p>今年度を初年度とする5年間の後期基本計画が策定され、現在それに基づいてまちづくりが進められております。実行に当たっての考え方、取り組み内容について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5年後、一番に目指すところは。それを実現させるために今後の具体策、または市民に示すイメージ戦略は。併せて本市の成長戦略は、何に特化してまちづくりを進めていくのか。 各集落では少子高齢化が進み、地域の元気が失われつつあり、元気を取り戻すための施策が望まれている。今後5年間で計画されている具体的な支援策は。 近年好調なふるさと納税者への継続に向けたフォロー策は。 	市長
市内道路環境の整備について	<p>本市における今後の道路環境の整備について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民から全般的に本市の道路路面が傷んでおり良くないと言われているが、その認識と他市町村との相対的な比較はされているのか。 道路のメンテナンスの考え方と今後の計画は。 交通渋滞の把握とその対策は。 <ol style="list-style-type: none"> JA ガソリンスタンド付近の3連続信号交差点における朝夕の渋滞について。 ちの医院付近から国道7号線までの県道の慢性的な渋滞について。 高野橋の幅員が狭く、大型車両のすれ違いが出来ないため、改善要望が強いことについて。 市民から消雪パイプの設置要望が強いが、現在は新規の設置は行わない方針とされている。今後の考え方は。 	市長
市立小中学校の適正規模について	<p>今年4月に小中学校の適正規模検討委員会から適正規模等について答申を受けましたが、今後の対応について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 答申を受けての今後の行政の対応と計画は。 今後、市民への意見聴取を行う考えはあるのか。 市民は判断する上で色々な材料を示さないと検討できない。統合する場合、しない場合のメリットとデメリット。併せてイニシャルコストとランニングコストを示していただきたい。 	市長 教育長

受付番号	令和 4 年 6 月 13 日
7	午前 11 時 00 分 受領

令和 4 年 6 月 13 日

胎内市議会議員 天木 義人 様

胎内市議会議員 丸山 孝博

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
原油価格・物価高騰から暮らしと営業を守る対策等について	<p>1 物価高騰が市民の家計を直撃し市内の経済は疲弊しているが、実態把握と市長の認識はどうか</p> <p>2 飲食、建設関連をはじめ、多くの事業所では燃料や食品、資材等の値上がりが続いていることから、市内事業所に対して事業継続への支援策を行うべきではないか</p> <p>3 「フードバンクたいない」に対する支援を強化することについて</p> <p>4 公共事業において燃料・資材等の値上がりによる影響を調査し、適切な公共事業の発注になるよう対策をとることについて</p> <p>5 学校給食は値上げせず、無償化を検討する考えはないか。また例えば保育料のように同一世帯に複数の子どもがいる場合の負担軽減でさらなる子育て支援を行う考えはないか</p>	市長

<p>新型コロナ対応等について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 新規感染者の発生状況と今後の感染防止対策について 2 新潟県が行っている民間薬局等での抗原検査、PCR検査の受検無料期間が、6月末までであるが延長を求めることについて 3 国の公立病院の病床削減計画で、公立・公的病院を統廃合することについて胎内市民の影響はどうか。コロナ危機の教訓を踏まえ、住民の命と健康を守る医療体制を構築・再生するには、病床削減計画をきっぱりと中止し、拡充へと切り替えることが必要だが、計画に対する市長の考えはどうか 4 コロナ禍で受診抑制されている後期高齢者医療保険加入者に対する人間ドック助成額を引き上げることについて 	<p>市長</p>
<p>平和行政の推進について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ロシアのウクライナ侵略で核兵器使用の脅かしはあってはならない。「非核平和都市」を宣言している市として内外に強いメッセージを発するべきではないか 2 市民の間で戦争と平和に関心が高まっている。市として新たな取り組みの必要性はどうか 	<p>市長</p>

受付番号	令和4年 6月13日
8	午前 11時15分受領

令和4年 6月13日

胎内市議会議長 天木 義人 様

胎内市議会議員 渡辺 秀敏

一 般 質 問 通 告 書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
市民協働の推進について	<p>暮らしやすく魅力のあるまちづくりを進める方法として市民協働は最も有効的なものと考えます。ただ、コロナ禍において思いどおりの結果には至っていないものと察しますが、次の点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市民協働の進捗状況とコロナの実情を踏まえ、座談会や協働の実現など、今後の計画（進め方）について伺います。 2 市民協働の実効性を確保するためには上層部だけではなく、全庁的な取り組みが求められますが、接遇も含め職員の意識の醸成はどのように図られているのか伺います。 	市長
環境保全について	<p>市民の安心、安全を確保するためには臭気や水質汚染または砂の採取などによる環境問題にも配慮することが必要です。関係する業者に関しては雇用の確保等、市の経済の安定・発展には重要な役割を担っており、一方、住民側においても一定の範囲までは協力がもとめられるものと考えます。現在代表者による環境衛生改善対策協議会等で対策に取り組んではいるが、近隣住民の不安や不快感解消という視点から、もう少し対象者を拡大し直接関係する住民を交えての意見交換会や住民説明会を実施することはできないか伺います。また、実効性を確保するために条例の制定が有効と思うがいかがか伺います。</p>	市長

<p>部活動の在り方について</p>	<p>先般、スポーツ庁の有識者会議において専門性の向上や教員の負担軽減を目的として部活動の民間移行が提言されましたが、他にも少子化の影響による課題も解決する必要があります。少子化で人数が足りず廃部になる種目もあり、生徒にとっては自分のやりたい部活ができない等選択肢が狭まっている現状にあります。このような現状において、これらの課題を解決するためにはスポーツクラブ等校外での実施も含めた民間移行が理想と考えます。そこで、当市では今後の部活動の在り方をどのように考えているのか伺います。</p>	<p>教育長</p>
<p>用途廃止施設の管理等について</p>	<p>市内には複数の用途廃止施設があるが、中には老朽化で危険とも思えるものがあり、防犯・防災の観点や景観の面からも問題である。解体も含め今後の用途廃止施設の管理について伺います。</p>	<p>市長</p>